

2025 年 6 月 20 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社

(コード番号：8424 東証プライム)

代表取締役社長 織田 寛明

「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」 (Asia-Pacific Climate Leaders 2025)に選定

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、イギリスの Financial Times 誌、ドイツのスタティスタ社が共同で調査している「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」(Asia-Pacific Climate Leaders 2025)（注）において、温室効果ガスの削減に貢献している優れた企業として上位 350 社のうちの 1 社に選定されました。

【芙蓉リースグループの気候変動への対応】

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、「脱炭素社会実現への貢献」を重要課題（マテリアリティ）に設定し、事業活動を通じた CO₂の削減を進めています。自社グループの脱炭素化に加え、事業機会としてのお客様・社会の脱炭素化を両輪として、気候変動の緩和に取り組むと同時に事業成長の実現を目指しています。

2019 年には「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言への賛同を表明し、2022 年より TCFD 提言に基づく情報開示を行っています。

TCFD 提言に基づく情報開示

<https://www.fgl.co.jp/sustainability/environment/tcfd.html>

温室効果ガスの排出量削減に向けては、まず自らが主体的に取り組むを行う必要があると考え、2018 年に国内の総合リース会社として初めて「RE100」に参加しました。また、2021 年にはカーボンニュートラル（Scope 1,2）を 2030 年に達成することを宣言し、排出量の削減に継続的に取り組んでいます。

RE100

**CLIMATE
GROUP**



今回頂戴した評価をさらに励みとし、引き続き気候変動問題への取り組みを進めることで、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

(注:「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」について)

アジア・太平洋領域^{※1}において温室効果ガスの削減に貢献している企業がリストアップされるものであり、今年度が4回目の開催となります。本調査では2018年～2023年における売上に対する温室効果ガスの排出削減量をベースに、売上に対する温室効果ガスの排出削減率やCDPスコア^{※2}などの指標を加味して評価されています。

※1 オーストラリア、香港、インド、インドネシア、日本、マカオ、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、大韓民国、台湾、タイ、ベトナム

※2 CDP：企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを有する国際的な非営利団体で、グローバルに影響力を持つ企業評価プログラムを提供している。芙蓉リースは、2023年度は気候変動の分野でAの評価を獲得した。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 渡邊

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>